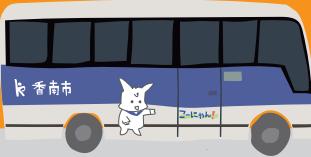




# 香南市地域公共交通計画

概要版



令和4年3月  
香南市

## 香南市 地域公共交通 計画とは

地域の豊かな暮らしや産業を支えるためには「移動」は欠かせない存在です。香南市では、鉄道（ごめん・なはり線）や路線バス（高知東部交通安芸線）、香南市営バス、タクシー、その他様々な移動支援サービスが市民や来訪者の移動を支えていますが、近年の人口減少による利用者数の減少や運転手の不足など、公共交通を取り巻く環境は厳しくなっています。

この計画は、香南市における暮らしの安心と豊かなまちづくりを支える公共交通を目指すために、これからの方針や具体的な方策について取りまとめた計画です。

計画の区域は香南市全域、計画期間は2022年度から2027年度までの6年間です。

## 香南市の 公共交通 の現状

### 香南市の公共交通

#### 【鉄道】

土佐くろしお鉄道  
ごめん・なはり線



高知市と奈半利町を結ぶ鉄道で、香南市には、のいち駅、よしかわ駅、あかおか駅、香我美駅、夜須駅があります。主に通勤や通学を目的として利用されています。

#### 【路線バス】

高知東部交通安芸線



高知市と安芸市を結ぶ路線バスで、香南市では主に国道55号線上を運行しています。

主に高齢者が通院や買い物、娯楽を目的として利用しています。

#### 【市営バス】

香南市営バス



居住地とのいち駅及び夜須駅を結ぶコミュニティバスで、市内のスーパーや病院、公共施設などを経由するように運行しています。

主に高齢者が通院や買い物を目的として利用しています。

#### 【その他】

タクシー  
その他外出支援サービス

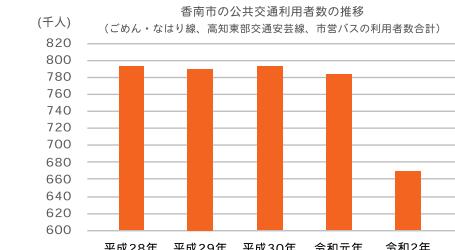
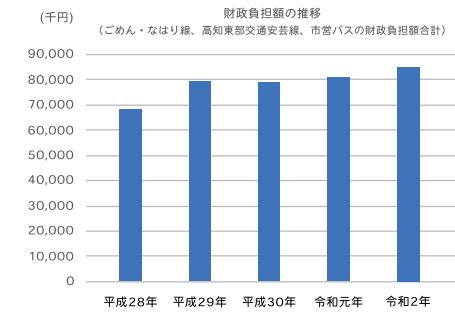


地域内の路線等を補い、主に高齢者や交通弱者の移動手段になっています。

タクシーは3事業者ありますが、近年利用者の減少と乗務員の高齢化で厳しい経営状況となっています。

### 利用状況と財政負担

ごめん・なはり線、高知東部交通安芸線、市営バスの年間利用者数は年々減少し、令和2年度で計669,140人、一方で市の財政負担は年々増加し、令和2年度では8,500万円／年となっています。



香南市の  
公共交通  
ネットワーク  
(令和4年3月現在)

ごめん・なはり線  
(土佐くろしお鉄道)



民間路線バス  
(高知東部交通)

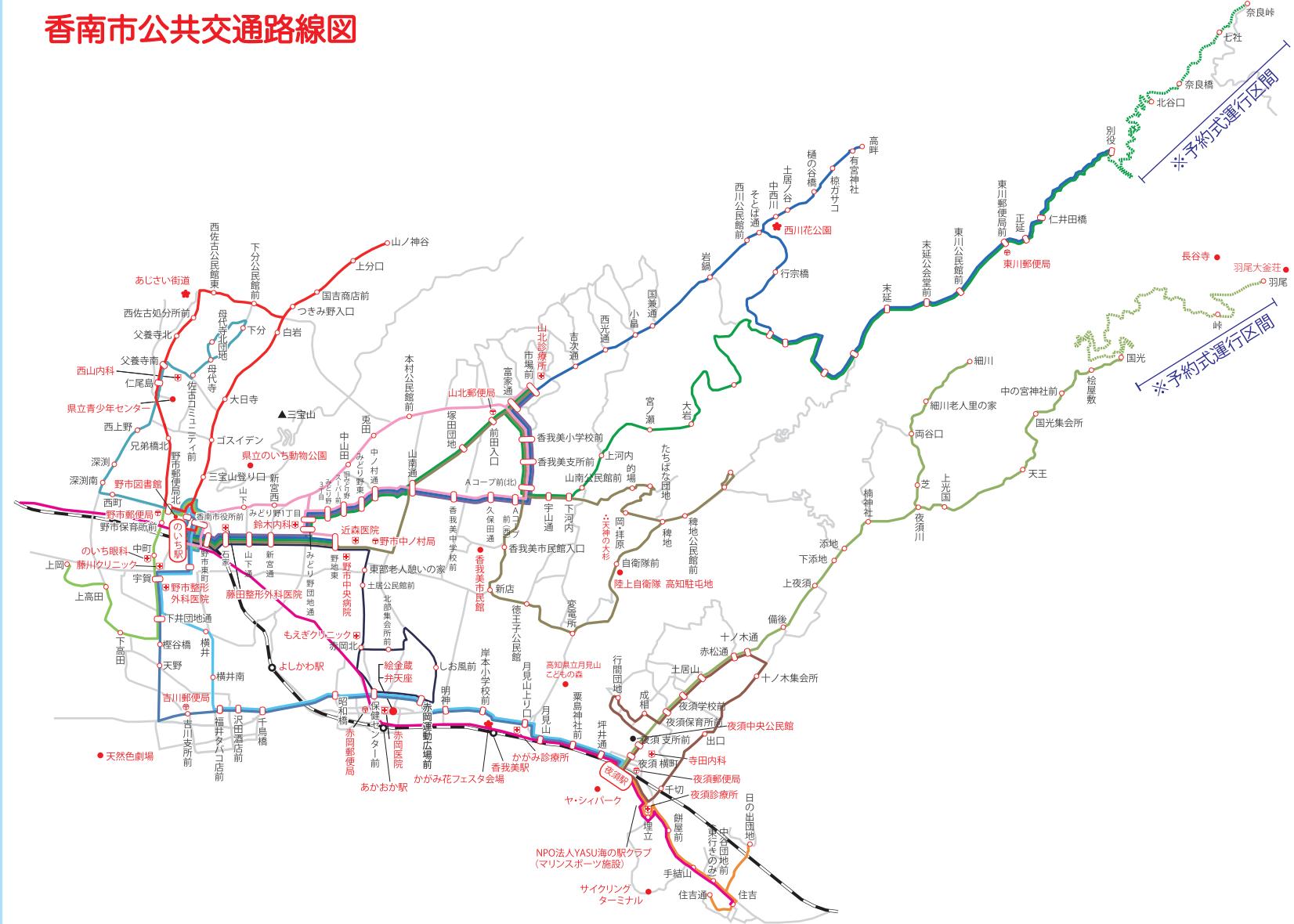


香南市営バス



- ① のいち東部循環線
- ② のいち北部循環線
- ③ 吉川・下井線
- ④ 吉川・横井線
- ⑤ 山南・徳王子線
- ⑥ 西川線
- ⑦ 東川線
- ⑧ 土居・赤岡線
- ⑨ 深渕・母代寺線
- ⑩ のいち・香我美線
- ⑪ 羽尾・細川線
- ⑫ 千切・行間循環線
- ⑬ 手結・住吉線

## 香南市公共交通路線図



## 市民・ 利用者の 声

計画策定にむけて各調査を実施しました！今後も定期的に調査をしながら交通サービスの改善に努めます！【令和3年度調査内容】

- 市民アンケート調査（15歳以上の市民3,000人を対象）
- 公共交通利用者調査（鉄道・路線バス・市営バスの利用者調査を対象）
- 集客施設利用者調査（スーパーや観光施設などの集客施設を対象）
- 目的地となり得る事業所等調査（医療・観光・商業施設等を対象）
- 交通事業者アンケート調査（鉄道・バス・タクシー事業者を対象）
- 関連事業者アンケート調査（観光や子育て福祉団体、デイサービス等を対象）
- 地域住民意見交換会（公共交通を不便に感じる割合の多い地域を対象）



### 調査からみる香南市の公共交通

6.8%

日々の移動手段は、多くの市民が自動車で移動しており、公共交通の利用は6.8%。通院や公共施設の利用で家族による送迎に頼っている傾向があります。



買い物先では野市町の「フジグラン」、「マルナカ」、赤岡町の「エーマックス」が多く、通院先では「野市中央病院」、「野市整形外科医院」、「のいち眼科」が多く利用されています。



運転されている人で64歳までの世代の半数以上が将来的な免許返納に前向きであり、公共交通利用の潜在ニーズがみられます。



市営バスの利用は、「のいち北部循環線」や「のいち駅～野地東区間」「野地東～Aコープ前区間」の人員が多くなっています。一方で香我美町や夜須町の路線では、ほとんど利用者がみられない区間もあります。



今後の公共交通の維持確保について、現状と同程度の財政負担の中で、運行の効率化等に取り組み、可能な限り公共交通の維持に努めるべきと考える市民が多いです。

### 事業者や地域住民の意見

市営バスの路線が多く複雑やき、どれに乗ったらえいか分からん。

土佐山田駅や高知龍馬空港など市外の移動も充実すべき。

買い物行くに  
バス停までが遠い。  
荷物が重いき  
バスに乗れんがよ。

バス車両は  
乗る人が少ないき  
小型でえいで。

病院は診療時間が変わつたりするき、帰りのバスに乗れんことがある。

市営バスや高知東部交通安芸線、ごめん・なはり線の接続を円滑にしてほしい。

市営バスのバス停が遠いき、地区（団地等）の中までバスを運行してほしい。



## 調査を通じて 見えてきた 課題

### 高齢者や外出に困っている人への移動手段の確保

市の65歳以上の高齢者は1万人以上おり、高齢化率は約3割。高齢化の進行や運転免許返納者の増加に対応するため、公共交通利用につなげる取組や日常の移動ニーズに対応した移動手段の提供が必要になっています。



### 誰もが利用しやすい環境整備

高齢者、障害者等が自立した日常生活及び社会生活が営むことができるよう、誰もが利用しやすい環境整備が必要です。



### 適正な財政負担

市の公共交通に対する財政負担は約8,500万円／年です。限りある財政状況を踏まえ、できるだけ負担を増やさず、利用実態やニーズに考慮した効果的な運行によって、サービス水準を維持・向上していくことが必要です。



### 地域特性やニーズに応じた交通サービスの提供

既存の公共交通については、利用者の需要やニーズに応じたサービス水準の見直しが必要であり、市内的一部には交通空白地域も点在するため、地域特性に対応した多様な交通サービスの提供が必要になっています。



### 公共交通への関心の醸成と わかりやすい情報発信の強化

ごめん・なはり線、高知東部交通安芸線、市営バスともに利用者数は減少しており、公共交通利用者は6.8%となっています。公共交通への関心を促し、利用に繋げる取組が必要です。



### まちづくり・観光・福祉との連携

移動の目的となる都市機能の適正な配置、観光振興、福祉政策等と整合・連携を図り、公共交通も社会基盤の重要な役割を担う必要があります。



### 周辺市と連携した広域移動への対応

土佐山田駅などの周辺市の施設や高知龍馬空港利用等、市外への広域移動ニーズにも対応するため、周辺市と連携して広域移動について検討していく必要があります。

## これから 目指すこと

### 基本理念

### 暮らしの安心と豊かなまちづくりを支える地域公共交通

～みんなで支え未来へつなぐ香南市の地域公共交通～

地域公共交通の課題に対応するため、「暮らしの安心と豊かなまちづくりを支える地域公共交通～みんなで支え未来へつなぐ香南市の地域公共交通～」を計画の基本理念とし、以下4つの基本方針と11の目標を設定して計画を遂行していきます。

#### 基本方針1

生活に困ることなく  
暮らし続けられるた  
めの交通ネットワー  
クの形成

#### 基本方針2

利用しやすく使いた  
くなるような交通環  
境づくり

#### 基本方針3

公共交通の利用促進  
と情報発信の強化

#### 基本方針4

多様な主体が一緒に  
考え支えていく持続  
可能な公共交通

##### 目標

目標1 公共交通利用者数の増加

目標2 公共交通利用者の満足度の向上

目標3 交通結節点の接続率向上

目標4 居住地と拠点を繋ぐ交通  
体系の構築

目標5 適正な財政運営

目標6 広域アクセス向上による  
定住・交流人口の増加

##### 目標

目標7 誰もが移動しやすい環境の充実

目標8 乗り継ぎしやすい環境の充実

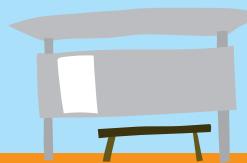
##### 目標

目標9 わかりやすい情報案内の提供

目標10 公共交通を利用する機会の向上

##### 目標

目標11 地域公共交通に対する市民の  
参画度の向上



# 香南市の 公共交通 ネットワーク 将来イメージ



## 市営バスを幹線と支線にシンプルに分ける

概要	市営バスを幹線と支線に交通結節点で分け、幹線については便数増加等のサービス充実させ、支線については、現状のサービス維持と向上を図る。
運行範囲	既存の市営バス路線（乗合タクシーエリアを除く）
車両	既存のバス車両の活用



## タクシーを活用した新たな交通手段（乗合タクシー）を運行する

概要	市営バスを幹線と支線に交通結節点で分け、利用が少数の支線は、バスの代わりに乗合タクシー（予約式）を導入する。 ※スクール混乗のある路線は現状維持とする。
運行範囲	市営バス利用が少数の路線及び地区及び交通空白地区（緑色エリア）
車両	タクシー事業者の車両



## 基本方針 1

生活に困ることなく  
暮らし続けられるた  
めの交通ネットワー  
クの形成

➡ 市営バスの複雑になっているのいち駅から香我美中心部間の路線をシンプルにし、利便性の高いネットワークをつくります。

➡ 市営バスの利用者の少ない路線はタクシー事業者と連携した乗合タクシーに移行し、その分バス路線の充実を図ります。

➡ 各交通事業者が定期的に利用者ニーズを把握しながら利便性の向上や交通体系の改善を図ります。



### 施策・事業

### 事業のここがポイント！

施策 1	拠点間を結ぶ利便性の高い地域公共交通への再編と乗り継ぎ機能の強化	① わかりやすく利便性の高い市営バスネットワークの形成	➡ ➡ ➡ ➡	【事業 ①②】 のいち駅から香我美中心部間の路線（山南・徳王子線、西川線、東川線、のいち香我美線）をシンプルにし、利便性の高いネットワーク形成を目指します。 利用者数の少ない路線・区間は乗合タクシーの導入を目指します。 導入にあたって、運行時間や便数、乗降場所は地域住民との協議により設定します。
		② 市営バス利用者数の少ない地区や交通空白地域に対する新たな交通手段の導入		
		③ ごめん・なはり線や高知東部交通安芸線、市営バス等の乗り継ぎの円滑化		
		④ 定期的なニーズ調査		
施策 2	通学利用のためのスクールバスの維持存続	⑤ スクールバスの維持存続	【対象区間】 東川線（下河内～奈良峰）、深渕・母代寺線、のいち西部線、千切・行間循環線、手結・住吉線	
施策 3	広域的取組の検討	⑥ のいち駅と高知龍馬空港を結ぶ乗合タクシー認知拡大と新たな輸送方法の検討 ⑦ のいち駅一土佐山田駅を結ぶ交通モードの検討		



## 基本方針2

利用しやすく使いたくなるような交通環境づくり

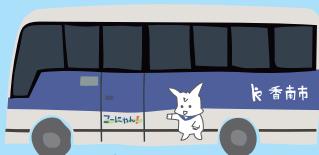
→ 待合や乗り継ぎの負担が少なくなるよう、バス停や主要駅の待合空間の充実を図ります。

→ 高齢者や障害者など誰もが無理なく移動できるように施設や車両のバリアフリー化を目指します。

### 施策・事業

### 事業のここがポイント！

施策 4	誰もが利用しやすい 環境改善	⑧ 手押し車やベビーカーの方でも利用できる市営バス環境づくり	→ [事業 ⑧] 市営バス車両の前方席を一部改造し、手押し車ベビーカー、輪行バッグなどを置けるフリースペースを整備します。 高齢者や妊婦、障がいのある方が乗降する際の介助を乗務員が実施することを検討します。
		⑨ 駅のバリアフリー化の検討	
		⑩ 主要バス停における待合環境の改善	
		⑪ 市営バス乗務員の研修会の実地	
施策 5	交通結節点の強化	⑫ のいち駅の機能充実	→ [事業 ⑫] のいち駅ロータリーへの高知東部交通安芸線乗り入れとタクシー乗降場所設置を検討します。 乗り入れにあたっては、利用者の意見聴取や運行の安全性の確認を十分に行った上で実施するかどうかを判断します。
		⑬ サイクル＆バス（ショップ）ライドの推進	
		⑭ パーク＆ライドの推進	



### 基本方針3

公共交通の利用促進  
と情報発信の強化

→ わかりやすい運行情報提供等の情報発信や公共交通利用のきっかけとなる機会を創出し、利用促進を図ります。

→ 地域公共交通の必要性を多くの市民に理解いただけよう、地域公共交通利用への機運醸成を図ります。

#### 施策・事業

#### 事業のここがポイント！

施策6	総合的な公共交通活用ガイドの作成・発信	<ul style="list-style-type: none"><li>⑯ 公共交通案内（運行時刻表）の更新・作成</li><li>⑯ 地域移動マップ・お出かけプランの作成</li><li>⑯ 公共交通利用促進にむけた情報発信</li></ul>	<p>【事業 ⑯】 市民が買い物や通院など目的に応じて「何時のどの路線に乗ればよいか」が分かるよう、各地域や集落毎に整理した「地域移動マップ」の作成を進めます。</p>
施策7	利用したいと感じ もらえる環境整備	<ul style="list-style-type: none"><li>⑯ 運賃体系・運賃割引サービスの改善</li><li>⑯ 市営バスパスポートの導入の検討</li><li>⑯ 運賃のキャッシュレス化の導入検討</li><li>⑯ バス車両デザインや愛称のリニューアル</li></ul>	<p>【事業 ⑯】 市営バスをより利用しやすくするためのサービスとして、どの路線でも乗り放題となるバスポートの導入を検討します。</p>
施策8	公共交通利用の きっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"><li>⑯ 市営バス利用お試しセットの配布の継続</li><li>⑯ 地域での集まりを活用したお出かけイベントの開催</li><li>⑯ 「クルマときどき公共交通」の利用に向けた公共交通利用促進イベント等の開催</li><li>⑯ ファミリー向け割引制度等の導入</li></ul>	

## 基本方針 4

多様な主体が一緒に  
考え支えていく持続  
可能な公共交通



市民・地域・交通事業者・社会福祉協議会・香南市等が、お互いの立場や役割を理解し、協力・尊重し合いながら、持続可能な公共交通サービス提供に向け、連携した取組を促進します。



### 施策・事業

### 事業のここがポイント！

施策 9	地域との協働やまちづくりと連携した事業の推進	②6 地域住民・地域団体との連携（地域との協働の取組）
		②7 医療施設・商業施設との連携
		②8 観光産業と連携した魅力ある交通体系の構築
		②9 産官学連携の取組の推進
施策 10	各部局と連携した事業の推進	③0 交通事業者と連携した雇用促進対策
		③1 市民の移動手段に関わる市職員や事業者の定期的な情報交換会等の開催
		③2 福祉施策との連携
		③3 市職員に対する公共交通利用の促進

#### 〔事業 ②7〕

バス待合環境の改善や施設へのバス車両の乗り入れ、施設内への運行情報の掲示等について、医療施設や商業施設と連携して取り組みます。

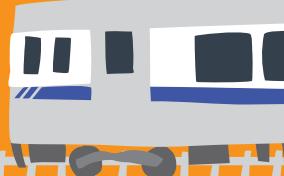
#### 〔事業 ③2〕

福祉施策の事業により移動支援の充実を図るとともに、新たな移動支援サービスについても検討します。

(例)

- ・医療機関送迎サービスの充実
- ・介護タクシーとの連携
- ・福祉施設等の送迎用車両の活用





公共交通をもっと身近に！  
ENJOY LIFE



香南市地域公共交通会計画  
2022(令和4)年3月  
発行：香南市  
編集：香南市地域支援課  
〒781-5292  
高知県香南市野市町西野 2706

計画書本編は  
こちらから

